

# チャレンジ鹿児島労働局（22年12月）

鹿児島労働局

〒892-0816 鹿児島市山下町 13-21

TEL 099-223-8275

URL <http://www.kagoshima.plb.go.jp>

## 11月の有効求人倍率は0.47倍で、 前月を0.02ポイント上回る

鹿児島県の11月の有効求人倍率(季節調整値)は0.47倍となり、前月(0.45倍)を0.02ポイント上回りました。

新規求人倍率(季節調整値)は0.76倍となり、前月(0.77倍)を0.01ポイント下回りました。

新規求人数は前年同月比21.7%の増と10ヶ月連続の増加となりました。

産業別では、建設業(24.8%増)は10ヶ月連続の増加、製造業(7.0%増)は再び増加、運輸業、郵便業(23.9%増)は5ヶ月連続の増加、卸売業、小売業(1.8%増)は3ヶ月連続の増加、宿泊業、飲食サービス業(17.3%増)は9ヶ月連続の増加、医療・福祉(34.2%増)は10ヶ月連続の増加、サービス業(20.4%増)は4ヶ月連続の増加となりました。

新規求職者数は前年同月比8.0%の増と再び増加となりました。

新規常用求職者の態様別では、在職求職者(8.3%増)は9ヶ月連続の増加となりました。また、離職求職者(4.4%増)は再び増加、無業求職者(23.8%増)も再び増加となりました。

離職求職者の内訳では事業主都合離職者(8.4%減)は12ヶ月連続で減少し、自己都合離職者(11.6%増)は再び増加となりました。

政府の12月の月例経済報告では、景気の基調判断を、「このところ足踏み状態となっている。また、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。」と3ヶ月連続で基調判断を据え置きました。一方、雇用情勢については、「依然として厳しいものの、持ち直しの動きがみられる。」と報告されています。

鹿児島県の雇用情勢は、新規求人の一部で景気後退以前の数値まで戻している産業もみられるものの、主要産業の殆どが前年の反動と緊急雇用対策事業求人の下支えで維持していることもあり、景気回復に伴う安定的な求人増とは判断し難い状況です。一方、新規求職者数は緊急雇用対策事業求人の大幅な増加に伴う応募者もあり、前年同月比で再び増加となりました。また、有効求職者数は前年同月比で2.8%減少しているものの、平年と比べると高水準で推移しており、依然として厳しい状況が続いています。

鹿児島労働局では厳しい雇用情勢の下、雇用のセーフティネットとして、9月10日に閣議決定された、「新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策」及び、10月8日閣議決定された「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」に盛り込まれた雇用対策を積極的に活用し、雇用維持や就職支援等に取り組み、今後とも一層効果的な行政の展開に努めて参ります。  
(職業安定部職業安定課)

### 有効(新規) 求人倍率の推移

